

平成17年度 一般会計補正予算 などを可決

～平成17年第4回定例会

12月13日に閉会した第4回定例会の中から、12月1日以降の審議内容についてお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3162 FAX218-5143 市議会ホームページアドレス●www.city.sapporo.jp/gikai

代表質問から

今回の定例会では、十二月六・七日の二日間の日程で代表質問を行いました。その中から主なものをお知らせします。

教育問題

細川 正人(自民党)

問 平成十六年九月に策定された札幌市教育推進計画の中には、学校における運動関係の部活動の充実を図ることなどが記載されている。しかし、運動関係の部の数は、平成九年から十七年にかけて百七十三も減少し、指導教員は二百二十六人も減少している。一方、外部指導者は、平成九年に三十六人だったものが、十七年には百三十四人と増えているが、その伸びも鈍化しているのが、現状ではないか。

答 札幌市教育推進計画にある部活動にかかる施策の展開について、どのように取り組んでいるのか。また、改善策は早急に打ち出すべきものと考えられるが、いかがか。

答 現在、外部指導者を対象とした研修の充実など施策の推進に努めているところであ

り、教員採用においても、部活動に関する指導などの多様なニーズに対応できる意欲的な教員の採用に努めているところである。改善策については、引き続き人材確保に努めるとともに、外部指導者の導入が部活動の設置につながる工夫や部活動の充実を図るための新たな仕組みづくりなど、他都市の先行的な事例について研究し、その成果を各学校などに情報提供していきたい。



学校でのコンピューターを活用した情報教育

峯廻 紀昌(民主・市民の会)

問 今日、情報通信ネットワークが急速に広まり、二十一

世紀を生きる子供たちにとつては、情報機器の操作能力はもちろん、必要な情報を自ら判断して、適切に発信・伝達するなどの情報活用能力を身に付けていくことが求められている。そのためにも、学校の授業の中で情報教育を積極的に推進することが必要である。学校における情報機器の活用状況について伺いたい。

答 さらに、情報活用能力を高めるためには、インターネット活用のノウハウを持つているPTAや地域の人々の協力を得ていくことも有効ではないか。学校・家庭・地域が互いに協力しながら、子供たちに教育していく取り組みを、PTAに呼び掛けるなどして広げる必要があると考えるが、いかがか。

答 教科や総合的な学習の時間を中心に、データベースやインターネットなどで情報機器が活用されており、その中で、学習に対する興味・関心・意欲の向上などを図るとともにマナーやルールの指導も行っている。

また、PTAなどとの連携については、今後、ITについての専門的知識のある保護者などの協力も得ながら、既

を参考に、PTAなどにも働き掛けていきたい。



新型インフルエンザ対策

芦原 進(公明党)

問 新型インフルエンザについて、市民の不安も増す中、札幌市が現在行っている取り組みについて伺いたい。また、流行に備え、どのような対策を講じることとしているのか。

答 現在、保健所および各保健センターにおいて、厚生労働省のQ&Aなどを活用しながら、健康相談に応じている。また、保健所ホームページにおいて、新型インフルエンザに関する情報を提供している。

今後は、国が策定した行動計画および作成中のガイドラインなどを基本に、札幌市の行動計画を作成していく。ま